JSP ニュース

2016年 夏

No.80

証券コード：7942

第58期 報告書　平成27年4月1日～平成28年3月31日

新社長就任インタビュー

Interview

代表取締役社長　**酒井　幸男**

JSPニュース　No.80　Contents

新社長就任インタビュー …… 01
特集 …… 03
トピックス …… 05
連結財務ハイライト …… 07
連結セグメント情報 …… 08
要約連結財務諸表 …… 09
JSPカレンダー …… 11
株主優待制度／配当実績 …… 12
会社情報 …… 13
表紙の写真 …… 14

Q1 自己紹介をお願いします。

1978年に三菱瓦斯化学に入社、水島工場の第3製造課に配属されキシレン分離の運転員を1年半、スタッフを半年経験後、研究課に配転、15年間で2つのプロジェクトに参加しました。この試運転の時に、非常に難しい局面となり、技術的ブレークスルーがなければ中断と言う時に、工場全体の力を結集し、解決できた経験が仕事を進めるうえでの基本的な考え方となりました。それ以降皆が一つの目標に向かって進めば、難題も解決できると思っています。その後はラインとして、つくばの研究所で4年、平塚研究所で4年、工場の部長工場長で3年、本社で、事業部長、開発部長、プレジデントで9年です。37年の中28年が現場に居ました。どちらかと言うと問題解決の答えは現場にあると考えていて現場主義でしょうか。

Q2 社長に就任された今のお気持ちとこれからの抱負をお聞かせください。

JSPは、50年以上の歴史を持ち、今に至っています。創立時から見るとすべてにおいて大きくなりました。またグループ内には多くの方が働いていますので、経営のかじ取りを誤るわけにはいかないと思っています。

50年以上と言う古き良きJSPの伝統、DNAを継承しつつ、今求められている上場企業としての社会的な責任を果たしていこうと思います。

Q3 社長就任後の初年度となる今期、どんな取り組みを行いますか。

まずは、中期経営計画の達成です。初年度の昨年は、外

部環境と自助努力が相まって想定以上の達成でした。しかし、外部環境は刻々と変わっています。これに対応するには、予算作成時に決めたアクションプランがどう進捗しているかの確認と必要ならば対応策が重要です。このPDCAを確実に回し計画を達成したいと思います。

JSPは製造業に身を置いています。社会に貢献するものを作り販売しているわけですが、ベースとなるのは、安全安定な生産活動であり、無事故、無災害の達成です。この達成のため、各工場、関係会社を訪問し話しあいたいと思います。

次に、企業理念の周知徹底を図りたいと思います。優れた会社は、会社の存在意義、理念が徹底している会社と思います。JSPの企業理念は「創造的行動力による社会への貢献」です。我々が考えなければならないのは、社会への貢献、顧客視点での生産開発販売活動です。製造する側の論理ではなく、利用する側の気持ちで考えていきたいと思います。

社長のすべきことは、①会社の方向付け、「何をやるか、止めるか」、②資源の最適配分、③人を動かすの3項目と考えています。

会社の利益の源泉は外部要因と内部要因に分けられます。外部要因に左右されない事業構造を目指しますが、外部要因が厳しい時は利益が上げにくいのは事実です。内部要因はそれとは関係なく強化することができ、これが達成できると外部要因が好転した時に違いとなって現れます。自社の強みをよく認識し、市場性があり、収益性の見込める事業領域を見極め、そこに経営資源を投入していくと言う事が原理原則です。

社会への貢献と働く方々が良い会社と誇れるようなJSPにしたいと思っています。

一番重要で難しいのが、人材育成です。色々なスキルを磨く方法が開発され、人材教育も行われています。しかし、一人一人が使命感に燃え仕事を取り組むには違うものが必要と思います。我々はゆくゆくどのような会社になりたいか？夢とか理想とか世の人のためどのように役立つのかなど、こういう事が共有された時に自発的に行動していくのではと思います。こういう事ができる会社にしていきたいと思います。

Q4 最後に株主の皆様に一言お願いします。

塚本社長の後を受けることになりました酒井です。

JSPは製造業に身を置きますので、安全安定な生産活動、無事故無災害を基盤として、中期経営計画の達成を目指します。昨年度は、外部環境が良かった事と構造改革の進展もあり、史上最高の利益をあげる事が出来ました。しかし、外部環境は日々刻々と変化しています。この難しい状況下でのさらなる成長を続けるためには、顧客視点からの用途拡大、高機能、高付加価値製品の拡充により高収益体質へのシフトが重要な課題であり取り組んでまいります。海外のピーブロックは好調を維持しており、タイムリーにさらなる拡大を図りますが、これに続く第二の柱の構築が必須であり取り組んでまいります。

これらを進めるに当たりコーポレートガバナンスを有効に機能させ、環境安全管理の徹底、内部統制の強化によりリスクおよびコンプライアンス管理を徹底し、人材育成により、強い企業体質の構築に取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

平成28年6月

酒井幸男

国内外に続々と新工場

1. タイ王国に発泡ポリプロピレンの新工場

当社は、かねてよりタイのサムットプラカーン県において発泡ポリプロピレン（以下、ピーブロック）の製造工場を建設しておりましたが、2016年3月に完成し、稼動を始めました。

タイでは自動車生産が大幅に増加しており、その部品としてピーブロック成形品の需要が増しています。

当社は2013年にタイに駐在員事務所を設立し、タイへの製品供給はシンガポールより行っておりましたが、タイに生産拠点を置くことで、受注から納入までのリードタイムが半分以下となり、原料の安定供給、輸送コストの削減、技術フォロー等の対応が可能となりました。

当工場の生産能力は年間1,800トンであり、今後積極的な製品の生産、開発、販売活動に努めていきます。

また、2016年3月24日にはタイ工場の操業に先立ち、開所式が執り行われました。当日は、酒井社長（当時：副社長）、臼井専務をはじめとした役職員、そして日本の成形加工メーカー様など、約20名が参列しました。

式典は9名の僧侶によるタイ式神事で行われ工場の順調な生産と安全な操業を祈願しました。

が完成します。

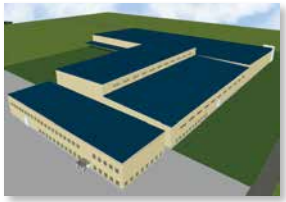
2. 鹿沼ミラフォーム工場が完成、更に関西でも工場の建設が決定

鹿沼ミラフォーム工場　2016年稼動

国内では、以前より、戸建て住宅やマンションの断熱材として用いられている発泡ポリスチレン押出ボード「ミラフォーム」の生産工場の建設を栃木県鹿沼市にて進めてまいりましたが、このほど機械移設が完了し、新体制での稼動をスタートいたしました。

更に、中部・西日本地区における「ミラフォーム」の生産体制を強化するため、兵庫県たつの市の当社関西工場隣接地におきましても新工場を建設することとなりました。2018年11月の完成を目標に工場建設に着手していきます。

「ミラフォーム」生産体制の再構築を行うことにより、今後も旺盛な需要に積極的に対応してまいります。



新工場完成予定図
2018年完成予定

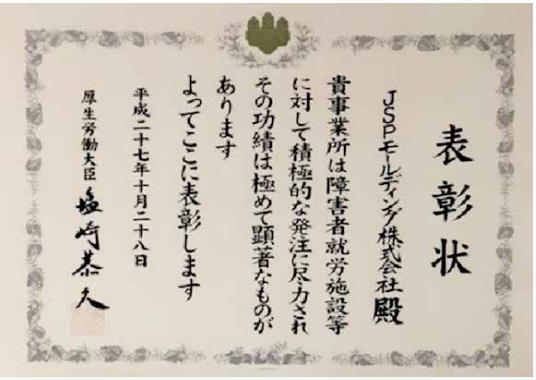
JSPグループのダイバーシティ
～障がい者雇用の取り組みのご紹介～

当社グループであるJSPモールディング㈱は、この度、平成27年10月28日に厚生労働省が選定した「平成27年度優先発注企業等の厚生労働大臣表彰」の受賞者に選ばれました。

この表彰は、障がい者就労施設等が供給する物品及び役務について、長年にわたり積極的な発注に取り組んでいる企業を表彰するものです。

またJSPモールディング㈱は施設への発注だけでなく、特例子会社として様々な配慮を行い、積極的に障がい者を採用し雇用を促進しています。

厚生労働大臣からの表彰状


表彰状

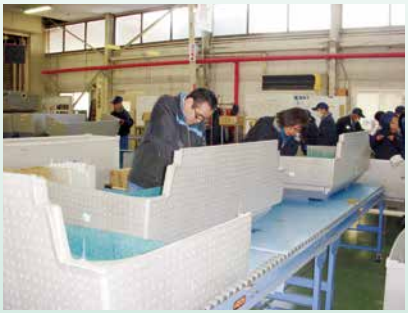
JSPモールディング株式会社殿

貴事業所は障害者就労施設等に対して積極的な発注に尽力されその功績は極めて顕著なものがあります

よってここに表彰します

平成二十七年十月二十八日

厚生労働大臣 塩崎恭久

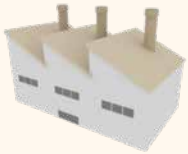


加工作業の様子

製造成型チームの朝礼

サポートメンバーからの指示をメモ

マネジメント



希望の家・教育機関

JSPモールディング

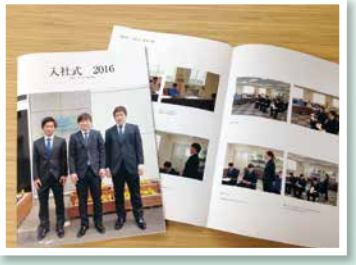
栃木県にある、JSPモールディング㈱の栃木工場では、現在約30名の障がいを持つ社員（以下チャレンジ社員）を雇用し、10名のサポートメンバーの指導の下でビーズ製品の成型や加工に関する業務を任せています。

更に、地域の就労施設や教育機関と連携し、一時的な雇用だけでなくチャレンジ社員一人ひとりの成長も促進しています。

また同社は、平成16年から過去10年以上に渡り、障がい者就労施設である社会福祉法人「希望の家」に自動車部品二次加工業務をはじめ様々な業務発注等を実施しています。この施設では、業務を機械化・自動化とは逆に人力化を推進することで作業の幅を広げ雇用の創出を行っています。

JSPはダイバーシティマネジメント（従業員の様々な「個性を基とした違い」を企業内で活用して組織運営すること）の一環として、今後もグループ全体で障がい者の方々の就労等に貢献したいと考えています。

JSP鹿沼第2工場
JSPモールディング
栃木工場

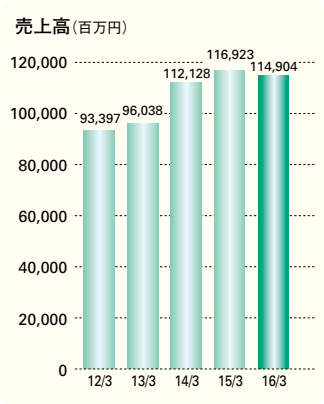


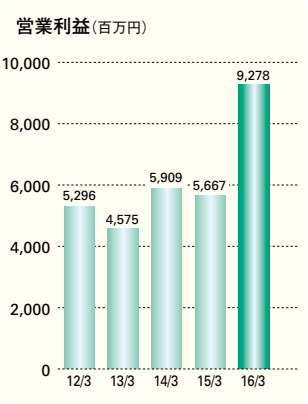
入社式を冊子にして
贈呈しています

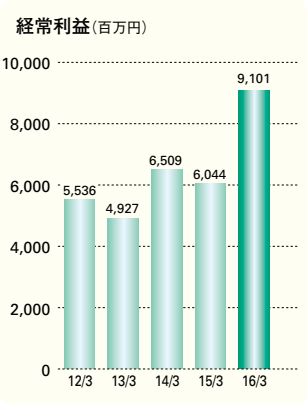
連結財務ハイライト

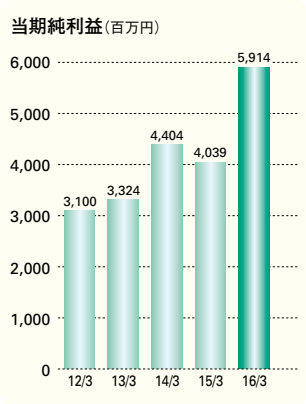
Consolidated Financial Highlights

（単位：百万円）	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3
売上高	93,397	96,038	112,128	116,923	114,904
営業利益	5,296	4,575	5,909	5,667	9,278
経常利益	5,536	4,927	6,509	6,044	9,101
当期純利益	3,100	3,324	4,404	4,039	5,914
純資産	47,362	53,431	62,375	70,352	72,497
総資産	89,072	95,565	108,420	116,717	115,136
（単位：%）					
売上高営業利益率	5.7	4.8	5.3	4.8	8.1
売上高経常利益率	5.9	5.1	5.8	5.2	7.9
売上高当期純利益率	3.3	3.5	3.9	3.5	5.1
（単位：円）					
1株当たり当期純利益	103.98	111.49	147.73	135.50	198.40
1株当たり純資産	1,499.89	1,671.55	1,940.48	2,190.61	2,277.32
（単位：百万円）					
設備投資	6,006	6,215	8,735	7,575	6,341
減価償却費	4,607	4,390	4,865	5,327	4,903









連結セグメント情報

Consolidated Segment Information

押出事業

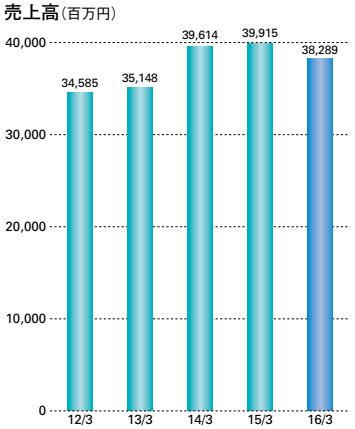
売上は、国内景気回復の遅れによる需要の伸び悩みに加え、原燃料価格の値下りによる価格改定により減少しましたが営業利益は大きく改善しました。

ポリスチレンペーパー
（食品容器）

ミラフォーム
（断熱材）

ミラフォームラムダ（断熱材）

同事業の売上高の推移



ビーズ事業

欧米・中国の販売好調や円安による外貨円換算額の増加もあり売上は増加しました。営業利益はスプレッドの回復や減価償却費の減少、国内外の事業内容の好転で大幅な改善となりました。

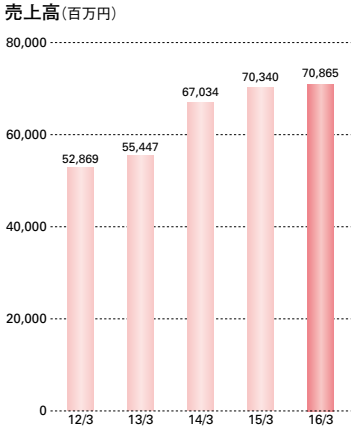
スチロダイア
（魚箱・野菜箱）

スーパーブロー
（ユニットバス天井材）

ピーブロック
（緩衝材）

ピーブロック（自動車部材）

同事業の売上高の推移

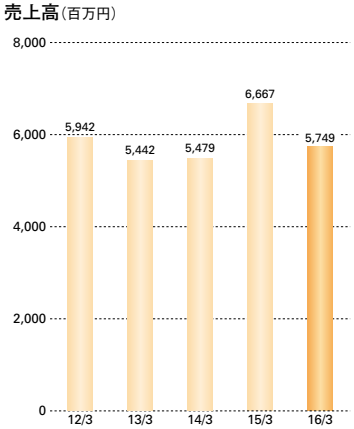


※2011年4月より、これまで「その他」に区分しておりましたスーパーブロー並びにスーパーフォームは、ビーズ事業に移管しております。

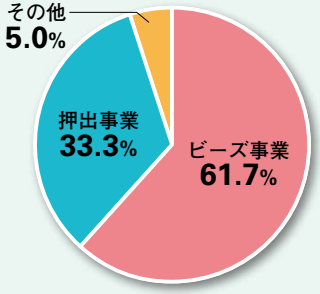
その他

国内では自動車や一般工業部品向け梱包材の需要増もあり売上は増加しました。中国では売上は減少しました。

同事業の売上高の推移



事業別売上高構成比



要約連結財務諸表

Summary of Consolidated Financial Statements

要約連結貸借対照表

（単位：百万円）

（資産の部）	当　期 2016年3月31日現在	前　期 2015年3月31日現在	前期比増減額
流動資産	62,672	64,106	△ 1,434
現金及び預金	16,003	15,314	688
受取手形及び売掛金	30,046	30,762	△ 716
有価証券	121	7	114
商品及び製品	6,534	7,127	△ 593
仕掛品	891	1,030	△ 139
原材料及び貯蔵品	4,044	4,422	△ 378
その他	5,328	5,931	△ 602
貸倒引当金	△ 298	△ 489	191
固定資産	52,464	52,611	△ 147
有形固定資産	48,413	48,527	△ 113
建物及び構築物	15,886	15,557	328
機械装置及び運搬具	15,319	15,500	△ 181
土地	14,476	14,438	38
その他	2,731	3,030	△ 299
無形固定資産	934	1,014	△ 79
投資その他の資産	3,116	3,069	46
投資有価証券	1,833	1,882	△ 49
その他	1,634	1,196	437
貸倒引当金	△ 350	△ 9	△ 341
❶ 資産合計	115,136	116,717	△ 1,581

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

（負債の部）	当　期 2016年3月31日現在	前　期 2015年3月31日現在	前期比増減額
流動負債	31,894	33,460	△ 1,566
支払手形及び買掛金	8,520	10,211	△ 1,690
短期借入金	6,201	7,757	△ 1,555
1年内返済予定の長期借入金	4,961	5,578	△ 616
その他	12,209	9,912	2,296
固定負債	10,744	12,905	△ 2,160
長期借入金	8,415	10,987	△ 2,572
退職給付に係る負債	549	217	332
その他	1,779	1,700	79
❷ 負債合計	42,638	46,365	△ 3,726
（純資産の部）			
株主資本	67,420	62,409	5,011
資本金	10,128	10,128	－
資本剰余金	13,405	13,405	－
利益剰余金	45,267	40,253	5,014
自己株式	△ 1,380	△ 1,378	△ 2
その他の包括利益累計額	469	2,898	△ 2,428
その他有価証券評価差額金	252	269	△ 16
為替換算調整勘定	68	2,348	△ 2,279
退職給付に係る調整累計額	148	281	△ 132
非支配株主持分	4,607	5,044	△ 437
純資産合計	72,497	70,352	2,145
負債純資産合計	115,136	116,717	△ 1,581

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

❶資産合計
当連結会計年度末における総資産は115,136百万円で、前連結会計年度末に比べ1,581百万円減少しました。このうち流動資産は1,434百万円減少し、固定資産は147百万円減少しました。

❷負債合計
負債は42,638百万円で、前連結会計年度末に比べ3,726百万円減少しました。このうち流動負債は1,566百万円減少し、固定負債は2,160百万円減少しました。

要約連結損益計算書

（単位：百万円）

	当　期 2015年４月１日から 2016年３月31日まで	前　期 2014年４月１日から 2015年３月31日まで	前期比 増減額
売上高	114,904	116,923	△ 2,018
売上原価	81,035	88,240	△ 7,204
売上総利益	33,869	28,683	5,185
販売費及び一般管理費	24,590	23,015	1,574
営業利益	9,278	5,667	3,611
営業外収益	661	658	3
営業外費用	839	280	558
経常利益	9,101	6,044	3,056
特別利益	315	40	275
特別損失	664	84	580
税金等調整前当期純利益	8,752	6,000	2,751
法人税等	2,720	1,651	1,069
当期純利益	6,031	4,349	1,681
非支配株主に帰属する当期純利益	117	309	△ 192
親会社株主に帰属する当期純利益	5,914	4,039	1,874

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

❹営業利益、経常利益、当期純利益

国内事業では原料価格と販売価格の差であるスプレッドが概ね適正水準に回復したこと、そして償却方法の変更により減価償却費が減少したことが利益改善に大きく影響しました。また海外事業は販売が好調だったことに加え、原材料安、円安効果も寄与しました。これらの結果、営業利益は9,278百万円（前年同期比63.7％増）、経常利益は9,101百万円（同50.6％増）、親会社株主に帰属する当期純利益は5,914百万円（同46.4％増）となりました。

連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	当　期 2015年４月１日から 2016年３月31日まで	前　期 2014年４月１日から 2015年３月31日まで	前期比 増減額
当期純利益	6,031	4,349	1,681
その他の包括利益			
その他有価証券評価差額金	△ 16	90	△ 106
為替換算調整勘定	△ 2,602	3,421	△ 6,023
退職給付に係る調整額	△ 132	796	△ 929
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0	△ 0
その他の包括利益合計	△ 2,751	4,308	△ 7,059
包括利益	3,280	8,658	△ 5,377
（内訳）			
親会社株主に係る包括利益	3,485	7,871	△ 4,386
非支配株主に係る包括利益	△ 204	786	△ 991

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

要約連結キャッシュ・フローの状況

（単位：百万円）

	当　期 2015年４月１日から 2016年３月31日まで	前　期 2014年４月１日から 2015年３月31日まで	前期比 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,849	8,289	5,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,001	△ 8,029	2,028
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,907	1,156	△ 7,064
現金及び現金同等物の期末残高	10,295	8,893	1,401

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

❸売上高

売上高は、円安による外貨円換算額の増加はありましたが、国内の景気回復の遅れによる需要の減少や製品価格改定の影響により114,904百万円（前年同期比1.7％減）となりました。

連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

当連結会計年度	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
2015年4月1日残高	10,128	13,405	40,253	△ 1,378	62,409	269	2,348	281	2,898	5,044	70,352
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 894		△ 894						△ 894
親会社株主に帰属する当期純利益			5,914		5,914						5,914
自己株式の取得				△ 2	△ 2						△ 2
連結範囲の変動			△ 6		△ 6						△ 6
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 16	△ 2,279	△ 132	△ 2,428	△ 437	△ 2,866
連結会計年度中の変動額合計	－	－	5,014	△ 2	5,011	△ 16	△ 2,279	△ 132	△ 2,428	△ 437	2,145
2016年3月31日残高	10,128	13,405	45,267	△ 1,380	67,420	252	68	148	469	4,607	72,497

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2016

1 January

「クルマの軽量化技術展」へ出展

2016年1月13日～15日の3日間、東京ビックサイトで開催された「クルマの軽量化技術展」へ弊社製品「PEPP®」を出展致しました。

「平成28年3月期第3四半期決算短信」を発表

1月29日、東京証券取引所にて平成28年3月期第3四半期決算短信を報告し、対外発表致しました。

「配当予想の修正に関するお知らせ」を発表致しました。

3 March

QCサークル活動全国大会開催

3月5日、当社恒例のQCサークル活動発表会全国大会を東京国際フォーラムにて開催致しました。全国52サークルから選抜された11サークルと中国無錫工場の発表があり、日頃取り組んできたテーマと成果を発表致しました。今大会では関西工場の王将サークルが6連覇を達成し、中国無錫工場が特別賞を受賞致しました。

4 April

「代表取締役の異動（社長交代）に関するお知らせ」を発表致しました。

「平成28年3月期決算短信」を発表

4月28日、東京証券取引所にて平成28年3月期決算短信を報告し、対外発表致しました。

5 May

「公認会計士等の異動に関するお知らせ」を発表致しました。

「発泡ポリスチレン押出ボード「ミラフォーム」新工場建設のお知らせ」を発表致しました。

詳しくは特集ページをご覧ください。

決算説明会開催

5月19日、如水会館において、アナリスト・ファンドマネージャーに対し、平成28年3月期決算の説明会を開催致しました。

6 June

6月29日、定時株主総会を開催致しました。尚、当定時株主総会において取締役の選任・決定を致しました。

職　位	氏　名	職　位	氏　名	職　位	氏　名	職　位	氏　名
代表取締役会長（昇任）	塚本　耕三	取締役　常務執行役員（昇任）	近藤　正	執行役員	所　寿男	執行役員（新任）	矢挽　忠雄
代表取締役社長（昇任）	酒井　幸男	取締役　常務執行役員（昇任）	七間　清孝	執行役員	田中　正行	監査役（常勤）	山本　均
取締役　専務執行役員	臼井　宏	取締役　執行役員	鈴木　高徳	執行役員	山田　真司	監査役（新任・常勤・社外）	澤田　芳明
取締役　専務執行役員	斉藤　吉成	取締役（新任）	稲荷　雅人	執行役員	扇　晋哉	監査役（新任・非常勤）	長岡　成之
取締役　常務執行役員	及川　泰男	取締役（社外）	大野　健二	執行役員（新任）	小川　誠	監査役（非常勤・社外）	田辺　克彦
取締役　常務執行役員	若林　功一	取締役（新任・社外）	別府　義史	執行役員（新任）	内田　浩介		

株主優待制度／配当実績

Shareholder Benefit/Dividend Record

株主優待制度

〈デザイン見本〉

■対象株主様

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または登録された1単元（100株）以上を保有されている株主様

■優待の内容

一律3,000円相当の、社会貢献寄附金付オリジナルクオカード（株主様は3,000円全額ご使用いただけます）

■贈呈の時期

毎年の株主総会終了後に発送予定

■社会貢献寄附金「緑の募金」について

1995年に制定された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、（公社）国土緑化推進機構及び各都道府県緑化推進委員会が行っている募金です。集められた寄附金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりなどに活用されています。

配　当　実　績

■株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な政策として位置付けております。利益の配分につきましては、安定した配当を重視するとともに、各事業年度の連結業績と将来の事業展開に必要な内部留保の充実などを勘案しながら、総合的に決定する方針としております。

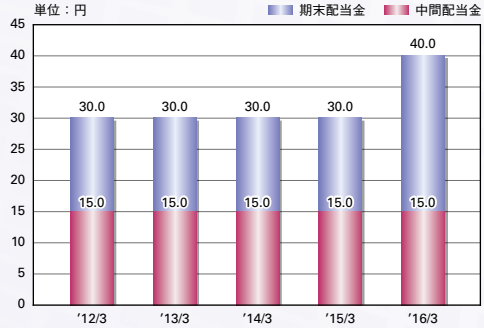
内部留保資金につきましては、財務体質の強化とともに、今後の新製品、新技術への研究開発投資や新規事業展開のための設備投資に充当してまいります。

なお、当社は、会社法第459条第1項に基づく剰余金の配当を取締役会決議により行なうことができる旨定款に定めており、中間配当及び期末配当の年2回の取締役会決議による配当を基本的な方針としております。

■当期配当金

平成28年3月期の1株当たりの配当金は40円、支払い済みの中間配当金を差し引いた期末配当金は１株当たり25円とさせていただきます。

■配当実績



会社情報（2016年3月31日現在）

Corporate Data

会社概要

商号	株式会社JSP
所在地	本社　東京都千代田区丸の内三丁目4番2号
事業内容	発泡プラスチック、 その他合成樹脂製品の製造販売および輸出、 土木・建築工事の設計・請負および管理
設立	1962年（昭和37年）1月
資本金	10,128百万円
決算期	3月
従業員数	737名（出向者除く） 連結2,743名（国内：1,284名、海外：1,459名）
事業所他	5営業所、1出張所、11工場、2研究所
主要関係会社	国内9社、海外27社

大株主

株主名	株数（千株）
三菱瓦斯化学株式会社	16,020
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,465
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	1,217
JSP取引先持株会	1,015
JP MORGAN CHASE BANK 385166	512
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	432
JSP従業員持株会	337
BBH FOR BBHTSIA NOMURA FUNDS IRELAND PLC/JAPAN STRATEGIC VALUE FUND	275
資産管理サービス信託銀行株式会社	263
日本生命保険相互会社	241

当社は自己株式1,601千株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.co-jsp.co.jp/ir/index.html （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。）

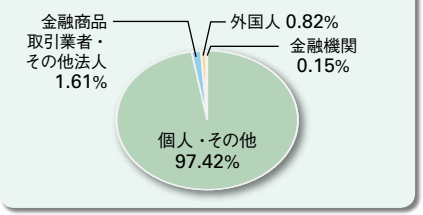
（ご注意）

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

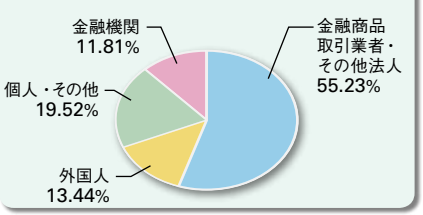
株式の状況

発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式の総数	31,413,473株
株主総数	19,114名

● 株主数別分布状況 ●



● 株式数別分布状況 ●



巡礼がめざす星の野の聖地

スペイン　サンティアゴ・デ・コンポステーラ

撮影・文
菅原 千代志（フリー写真家、㈳日本写真家協会会員）

1970年代初頭から各国を旅し、民族文化をテーマに北米、イベリア半島を中心に多くの海外取材を手掛け、新聞・雑誌などに写真とエッセイを発表。『アーミッシュ／もうひとつのアメリカ』ほかの著書がある。

ロマネスクの「栄光の門」が巡礼を迎える

9世紀の初め、イベリア半島西北のガリシアで聖ヤコブ※1の墓が発見されました。聖人の墓発見を喜んだアストゥリアス王アルフォンソ2世は教会を建て、司教座を移し、以来サンティアゴ・デ・コンポステーラ※2は聖地となりました。キリスト教世界の各地から巡礼たちがサンティアゴに詣でるようになり、12世紀には年間の巡礼が50万を数えました。各地に網のように巡礼の道が出来、それが縒り合わさったロープのように太い道※3となって聖地に向かったのでした。

フランス、クリュニーのベネディクト派修道会は多くの巡礼団を組織する一方、巡礼路に沿って教会や修道院を建設しました。その建築・美術はロマネスク様式と呼ばれ、巡礼路は「ロマネスクの道」でもあったのです。

巡礼たちは、マントやつば広の帽子に巡礼のシンボルである帆立貝をつけ、瓢箪の水筒を吊下げた杖を手に、パンを入れるズタ袋を肩にして聖地を目指しました。貝は平和を、杖は希望、水筒は救いをそれぞれ象徴していました。

現在のサンティアゴは、大聖堂はじめ、36の修道院と46の教会を擁する聖地であると同時に、16世紀に創設された大学がある学生の町です。通りも建物も花崗岩で出来た街路が美しく、空気が柔らかく感じられ、雨がよく似合う町です。

中心のオブラドイロ広場に面した大聖堂は、初期の小さな教会堂を改築、11世紀の終わりから12世紀にかけて建てられたロマネスク様式のもので、16〜17世紀の増・改築によるバロック装飾の外観を見せています。入ると、マテオが1168年から20年間かけて完成させたという200を超す彫像が刻まれたロマネスク様式の「栄光の門」があり、中央の柱には左手に杖、右手に「神が私をつかわした」との書面を持った聖ヤコブの座像があり、上の半円部には栄光のキリストが、その外周には各種の楽器を持つ24の人物像が刻まれていて、スペイン・ロマネスクの最高傑作といわれています。

※1　聖ヤコブ
12使徒の一人の大ヤコブ、スペイン語ではサンティアゴ。イベリア半島で伝道活動をしたが、44年頃、ヘロデ・アグリッパによりパレスティナで殺され、12使徒最初の殉教者となる。遺体は弟子たちによって密かに船で運ばれ、ガリシアの入り江近くに埋葬されたが所在は知られていなかった。

※2　サンティアゴ・デ・コンポステーラ
9世紀以来、キリスト教3大聖地の一つとして現在も世界各地から巡礼が訪れる。「星の野のサンティアゴ」の意があり、星に導かれて聖ヤコブの墓が発見されたことに因む。旧市街は1985年にユネスコの世界遺産に登録された。

※3　サンティアゴ巡礼の道
ピレネー山脈を越えて約800㎞、聖地サンティアゴ・デ・コンポステラに至る路は「フランスの道」とも呼ばれる巡礼の主ルート。1993年に世界遺産に登録され「熊野古道」と姉妹道提携が結ばれている。

Network

本社・事業所一覧

本　社			☎
	〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-4-2（新日石ビル）	03-6212-6300
営業所			
札幌	〒060-0003	札幌市中央区北3条西1-1（サンメモリアビル）	011-231-2681
仙台	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-4-1（仙台興和ビル）	022-262-3271
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦3-4-6（桜通大津第一生命ビル）	052-962-3225
大阪	〒541-0053	大阪市中央区本町1-6-16（いちご堺筋本町ビル）	06-6264-7900
福岡	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東1-12-17（五幸ビル）	092-411-6854
出張所			
広島	〒732-0052	広島市東区光町1-12-20（もみじ広島光町ビル）	082-568-0566
工　場			
北海道	〒067-0051	北海道江別市工栄町23-4	011-384-1621
鹿沼第一	〒322-8511	栃木県鹿沼市さつき町17	0289-76-2211
鹿沼第二	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町5	0289-76-3271
鹿沼第三	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町10-2	0289-76-5905
鹿沼ミラフォーム	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町13-1	(FAX) 0289-76-3227
事務管理センター	〒322-8511	栃木県鹿沼市さつき町17	0289-76-2211
鹿沼物流センター	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町13-1	0289-76-2121
再資源センター	〒322-0026	栃木県鹿沼市茂呂638	0289-76-6606
鹿島	〒314-0103	茨城県神栖市東深芝16-3	0299-93-4111
四日市第一	〒510-0881	三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1220
四日市第二	〒510-0955	三重県四日市市北小松町扇廣1600	059-328-2563
関西	〒679-4304	兵庫県たつの市新宮町下笹515	0791-77-0213
北九州	〒800-0229	福岡県北九州市小倉南区曽根北町2937-7	093-474-7211
九州	〒861-0111	熊本県熊本市北区植木町宮原553	096-274-7101
研究所			
鹿沼	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町10-3	0289-76-1600
四日市	〒510-0881	三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1245

海　外

北　米

JSP International, LLC.（アメリカ）
JSP International de Mexico, S.A. de C.V.（メキシコ）

南　米

JSP Brasil Indústria De Plásticos Ltda.（ブラジル）

欧　州

JSP International SARL（フランス）
JSP International s.r.o.（チェコ）
JSP International o.o.o.（ロシア）

アジア

JSP Foam Products, PTE. Ltd.（シンガポール）
Taiwan JSP Chemical Co., Ltd.（台湾）
KOSPA Corporation（韓国）
JSP Plastics (Wuxi) Co., Ltd.（中国）
JSP Plastics (Shanghai) Co., Ltd.（中国）
Kunshan JSP Seihoku Packaging Material Co., Ltd.（中国）
JSP Plastics (Dongguan) Co., Ltd.（中国）
JSP Foam India Pvt. Ltd.（インド）
JSP Foam Products (Thailand) Co., Ltd.（タイ）

JSP

発行　**株式会社 JSP**
東京都千代田区丸の内三丁目4番2号新日石ビル
広報IR室　TEL.03-6212-6306　FAX.03-6212-6302
ホームページ　www.co-jsp.co.jp

VEGETABLE OIL INK

R70
古紙配合率70%再生紙を使用しています